

## 【 競 技 ・ 審 判 、 及 び 会 場 使 用 上 の 注 意 事 項 】

### R5.9.17

1. 本大会は、日本ソフトテニス連盟発行のソフトテニスハンドブックに準じて行う。
2. マッチは、すべて7ゲームとする。
3. ベンチは、番号の小さい方が本部側（掲揚台側）とする。
4. 使用球は男子がアカエム、女子がケンコーボールを用いる。
5. 選手は必ず指定の3段ゼッケン（ゴシック体）の四隅を留めて付けて試合を行うこと。

※忘れた場合は、本部で販売

している。（500円）

6. 今年度の予選通過ペア数は、男子28ペア・女子28ペアとする。

7. 審判は、次のように行うものとする。

（ア）第1試合の審判は、本部から指示された選手（進行表に記載）で行う。

（イ）第2試合以降は敗者審判で行う。 ※有資格者はワッペンを左胸につけること。

※進行表をしっかりと確認しておくこと。

8. マッチ前の呼び出しは原則として行わないので、進行には十分注意し、次のマッチのプレーヤーはすみやかに所定のベンチに入る。（審判が準備してから3分経過してもプレーヤーがコートに

入らない時は棄権とする場合がある)

9. マッチ中は、審判の指示に従い、連続的にプレーすること。(パートナーどうしの打ち合わせは、マッチの進行に支障となる状態で行うことはできない。)
10. マッチ中、相手を不快にするポーズをしたり、言ったり、過度のかけ声をしたりすることは禁じられている。応援する場合も同じ。警告の対象となる。また、うちわやペットボトルなどを叩いての鳴り物を用いた応援はできない。日傘の使用については、白や銀などの反射する傘を用いないよう配慮する。
11. 審判に対する異議の申し立ては、行うことが出来ない。(質問は可能)
12. マッチ中のコーチは、サイドチェンジ及びファイナルゲームに入る場合の1分以内とする。正審の「レッツプレイ」の指示に従う。
13. コーチを許可された者は、1名のみ指定位置(ベンチ)に入ることができるが、マッチ中みだりにベンチを離れない。(必ず許可証を身につける。服装・シューズは選手に準ずる。)
14. 勝者は、審判よりジャッジペーパーを受け取り、ただちに本部まで持っていくこと。

## **15. 会場施設の利用について**

- (ア) 各ベンチの一行目は応援生徒、保護者のために荷物を置かないこと。
- (イ) 更衣室等の使用は禁止する。また、本部下通路上等に荷物を置かないこと。

(ウ) ゴミは、各学校で責任をもって持ち帰ること。

(エ) 盗難防止のため貴重品管理をしっかりと行うこと。

(オ) 陸上競技場サブグラウンドなど、他の敷地場内にテントを張らないこと。